

# 平成27年度 協働事業提案募集の概要



©岡山県「ももっち・うらっち」

平成28年3月  
岡山県備中県民局

## 目 次

1	協働事業提案募集制度の概要	・・・ 1
2	平成27年度提案募集の経過	・・・ 1
3	平成27年度協働事業提案募集採択事業一覧	・・・ 3
4	協働事業提案募集採択事業の概要	
	No.1：ささえ愛・助け合い・分かち合い 笑顔のびっちゅうサポート事業	・・・ 4
	No.2：きらめき生活支援協力隊事業	・・・ 8
	No.3：高齢者パワーを地域で生かし、健康寿命延伸	・・・ 12
	No.4：備中矢掛まるごと博物館	・・・ 16
	No.5：高梁川トレイルによる風土ツーリズム開発	・・・ 20
	No.6：「龍の仕事展」を大学生の人材育成として活用したインターンシッププログラムの開発	・・・ 22
	No.7：玉島に一人でも多くのお客に来ていただく	・・・ 26
	No.8：大学留学生との交流をとおしての地域の活性化事業	・・・ 28
	No.9：備中地域づくり実践講座の開催	・・・ 30
	(参考) 平成27年度協働事業提案募集チラシ	・・・ 32
5	備中県民局協働事業審査委員会の概要	・・・ 36
6	協働研修の実施状況	・・・ 38
7	平成22年度～平成26年度における協働事業提案募集採択事業の概要	・・・ 40

## 1 協働事業提案募集制度の概要

この制度は、多様化、複雑化する地域の課題やニーズ等に対して、行政が単独で対応することが困難になってきている中、特定非営利活動法人又はボランティア活動団体・市民活動団体等、社会貢献活動を行う営利を目的としない団体（以下「NPO等」という。）から、その専門性、柔軟性等を活かした事業の提案を募集し、NPO等と岡山県備中県民局（以下「県民局」という。）が協働することで、地域課題の効果的・効率的な解決を図ることを目的とし、実施するものである。

## 2 平成27年度提案募集の経過

### (1) 募集期間

平成26年12月19日（金）～平成27年1月30日（金）

### (2) 応募事業数

26事業

### (3) 第一次審査

備中県民局協働事業審査委員会（以下「審査委員会」という。）が、応募のあった26事業について書類審査を実施した結果、第一次審査通過事業として15事業を選考した。

### (4) 第二次審査

平成27年4月20日（月）、備中県民局会議棟にて、第一次審査を通過した14事業（1事業辞退）について団体によるプレゼンテーションを実施し、審査委員会による審査の結果、9事業が採択された。

### (5) 採択事業事務説明会、協定書の締結、事業実施等

平成27年4月30日（木）、採択された9事業の団体担当者に対し、事務の流れ等を説明した。

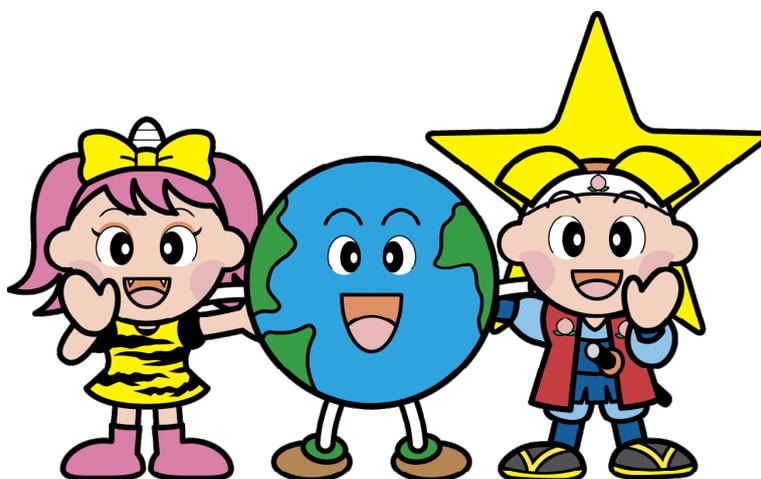
その後、県民局担当課との間で協議を行った上で協定書を締結し、それぞれ事業に着手した。

### (6) 中間報告

平成27年10月～11月、実施事業の進捗状況について、審査委員会委員に対し、地域づくり推進課担当者から個別に報告を行った。

(7) 事業結果報告

平成28年3月17日(木)、備中県民局会議棟において、採択された9事業を実施した団体が、事業結果についてプレゼンテーション形式で報告を行った。



©岡山県「ももっち・うらっち」

### 3 平成27年度協働事業提案募集採択事業一覧

事業名	団体名	事業概要
ささえ愛・助け合い・分かち合い 笑顔のびっ ちゅうサポート事業	NPO法人大島まちづく り協議会 (笠岡市)	高齢者世帯の孤立を防ぐ体制を構築するため、 シンポジウムやいきいきサロンの開催、3世代 交流事業等を実施する。
きらめき生活支援協力隊 事業	NPO法人NPOきらめ き広場 (新見市)	住民が支え合い高齢者が安心して暮らすこと のできるよう、出前健康サロンの開催や生活支 援、安否確認を実施する。
高齢者パワーを地域で生 かし、健康寿命延伸	にいみフォーラム (新見市)	高齢者の健康づくりや地域コミュニティーのき ずな強化のため、シンポジウム開催や健康寿命 の取組の普及啓発等を行う。
備中矢掛まるごと博物館	備中矢掛宿の街並みをよ くする会 (矢掛町)	矢掛町及び備中地域全体を博物館と見立て、矢 掛本陣を主会場としたまるごと博物館の開催や 各種シンポジウム・サミットを行う。
高梁川トレイルによる風 土ツーリズム開発	一般社団法人水辺のユニ オン (倉敷市)	高梁川流域のトレイルルート開発やトレイルに 関するシンポジウムの開催、オープンデータ活 用のトレイルマップづくりを行う。
「龍の仕事展」を大学生 の人材育成として活用し たインターンシッププロ グラムの開発	龍の仕事展実行委員会 (倉敷市)	「龍の仕事展」を大学生の人材育成として活用 し、インターンシッププログラムの開発等を行 う。
玉島に一人でも多くのお 客に来ていただく	NPO法人備中玉島観光 ガイド協会 (倉敷市)	観光ガイドブック作成、SNS等による観光情報発 信等により、玉島の知名度アップと観光客の増 加を図る。
大学留学生との交流をと おしての地域の活性化事 業	クラブいのしし (矢掛町)	大学留学生を地区民で受け入れ、留学生との交 流を通じた地域活性化を図る。
備中地域づくり実践講座 の開催	備中田舎カレッジ連絡会 議 (矢掛町)	地域づくりに携わりたい若手を募集し、5回の 講座と最終発表プレゼンを行うプログラムを提 供する。

※事業概要については採択時のものであり、その後の調整により変更になっている場合がある。

## 平成27年度協働事業提案募集採択事業の概要 No.1

1 事業名 : ささえ愛・助け合い・分かち合い 笑顔のびっちゅうサポート事業

2 実施団体名 : NPO法人大島まちづくり協議会

3 協働担当課 : 健康福祉課長寿社会班

### 4 事業概要

NPO法人大島まちづくり協議会がプラットフォームとなり、地域で支え合いを広め、地域の皆さんのニーズに応え、地域の共助、助け合いシステムの構築を図り、高齢者が生き活きと暮らせる地域づくりに努めた。

### 5 事業の流れ等

#### (1) 「びっちゅう・いきいきサロンシンポジウム」の開催

- ・高齢化や人口減少・過疎化による問題を抱える地域の自治体の方々に集まっていただき、高齢者が生き活きと暮らせる支え合い体制づくりをテーマとした講演や意見交換を行い、地域コミュニティの再構築を図る体制を検討した。
- ・開催日時 平成27年10月12日(月)9時~15時
- ・開催会場 大島海に見える家
- ・講師 学校法人山陽学園大学 総合人間学部教授 隈元貴美子先生

#### (2) いきいきサロン事業

- ・毎月4回「いきいきサロン」を開設し、生きがいつくり、健康維持、引きこもりの解消、交流促進に努めた。
- ・いきいきサロンは、食事部門といきいき部門で構成。
- ・食事部門では、参加者に昼食を振る舞い、食後はコーヒーと手作りケーキで、談話を楽しんでいただいた。
- ・いきいき部門では、グラウンドゴルフや、手芸講座など、さまざまなイベントを催し、健康維持と交流促進に努めた。
- ・遠距離からのサロン参加者のべ600人をレンタカーで送迎した。

#### (3) 3世代交流事業

- ・「ふれあいフェスティバル：新田干拓 歴史と自然ふれあいウォーキング」(地域住民皆健康事業)を実施し、地域の歴史伝承に努めるとともに、小学生・保護者・祖父母等112名が3世代の交流を図った。
- ・地域の伝統行事への参加と参加促進。

- ・11月22日には、耕作放棄地を再生した田畑から収穫した米や野菜や海の漁獲に感謝し、「秋穫祭」を実施。1,000人を超える老若男女が集い、交流の輪を広げた。このイベントには、山陽学園大学の教授及び学生にも参加していただき、地域住民との交流が図られた。

#### (4) 高齢者の日常生活の安全確保事業

- ・見守り体制確立事業として、いきいきサロンでの相互扶助はもとより、「ゲートキーパー」の役割や、現況の聴き取り等の機会を作った。
- ・地域の住民の皆さんに活動理念を理解してもらうため、平成27年12月16日には、山陽学園大学の古川先生を招へいし、民生委員と愛育委員の合同研修会を開催するなど、超高齢社会に備えた体制づくりに努めた。

## 6 成果・効果

本事業を山陽学園大学の教授及び学生たちと協働で実施したことで、地域の高齢者の方々の豊富な知識、経験に加え、学生の新しい発想を取り入れることもできるようになり、生き活きとした地域コミュニティを作り出す力を得ることにつながった。

## 7 今後の課題等

大島地域は、温暖な気候風土に恵まれ、古く縄文の時代から栄えていた地域であり、この地域をさらに活性化し、地域力を向上させていくためには、多くの関係者の支援、協力を得ながら、地域資源を活用して、こころ豊かに暮らせるまちづくりを進めていく必要がある。

今回の事業を実施することにより、地域の課題を地域力の向上によって解決する共助のシステムを構築するための契機を得ることができたので、今後は、今回の事業の内容をさらに継続・発展させ「地域コミュニティ再生事業モデル」の確立につなげていきたいと考えている。

さらに、当地域における問題解決のみを最終的な目標とするのではなく、同様の問題を抱える他の地域に対しても、当地域で培った事業モデルのノウハウを伝承するとともに、情報交換・相互啓発等を通じて、他の地域とともに共通課題の解決策を検討していきたいと考えている。

## 8 実施状況



いきいきサロン シンポジウム



いきいきサロン



自然ふれあいウォーキング



秋穫祭



©岡山県「ももっち・うらっち」

## 平成27年度協働事業提案募集採択事業の概要 No.2

1 事業名 : きらめき生活支援協力隊事業

2 実施団体名 : NPO法人NPOきらめき広場

3 協働担当課 : 健康福祉課長寿社会班

### 4 事業概要

高齢者がいつまでも健康であり続けられるように「出前健康サロン」を開催し、医師・看護師等の専門職員が最寄りの集会所でミニ講演や一口健康サポートを実施し、住民の健康寿命意識を高めた。

また、住民が支え合い高齢者が住み慣れた地域で安心していつまでも暮らせるように「ちょっとした困りごとの生活支援と安否確認」を実施し、要支援登録者を対象として庭の草とりや除草剤散布などの生活支援や安否確認を行った。

### 5 事業の流れ等

#### (1) 出前健康サロンの開催

- ・ 6月23日 第1回出前健康サロンを開催
  - ・ 場所：高野集会所 ・ 参加者数：3人
- ・ 6月25日 第2回出前健康サロンを開催
  - ・ 場所：下野部集会所 ・ 参加者数：30人
- ・ 8月20日 第3回出前健康サロンを開催
  - ・ 場所：上野部振興センター ・ 参加者数：13人
- ・ 9月17日 第4回出前健康サロンを開催
  - ・ 場所：大芽集会所 ・ 参加者数：19人
- ・ 12月9日 第5回出前健康サロンを開催
  - ・ 場所：公民館野原分館 ・ 参加者数：16人
- ・ 1月26日 第6回出前健康サロンを開催
  - ・ 場所：矢田谷集会所 ・ 参加者数：13人
- ・ 2月3日 地域交流会（テーマ：目指せ！「生涯現役」）を開催
  - ・ 場所：きらめき広場・哲西 ・ 参加者数：130人
  - ・ 内容：健康運動指導士による健康体操、医師による健康寿命の講話、参加者同士の交流タイム、健康づくりゲームなど

## (2) ちょっとした困りごとの生活支援と安否確認の実施

### ①生活支援アンケート調査の実施

訪問調査等件数：372件 回収済み：200件

### ②要支援者の登録

登録者数：11人

(内訳) 一人暮らし世帯5人、高齢者世帯3人、障害者世帯3世帯

### ③生活支援協力者の登録

登録者数：20人

### ④ちょっとした困りごと生活支援事業の実施件数

件数：14件(延べ28時間)

内容：庭の草とり、除草剤散布、蜂の巣取りと花の木の取り込み など

## 6 成果・効果

### (1) 出前健康サロンの開催

住み慣れた小さな地域を単位として、和やかな雰囲気のもとで開催することで、健康づくりの推進がごく身近な課題であることを参加者に再認識してもらうことができた。また、情報交換を通じて参加者からきめ細かい情報提供があり、安否確認や状況把握ができた。さらに、地域の全面的な協力を得て実施したので、参加者自身が地域の担い手でもあるという自覚が広がったようであった。加えて、地域交流会は、広い地域の仲間が一同に会したことにより、日頃、疎遠になっていた、知人等と再会し、お互いの小地域の状況を話題にすることによって、課題の共有や一体感・支え合い意識等の醸成の糸口がつかめた。

### (2) ちょっとした困りごとの生活支援と安否確認の実施

生活支援アンケートを通じて地域の高齢者の実情を把握するとともに安否確認を行い、併せて、生活支援協力者の登録を進め、ちょっとした困りごとの生活支援の事業を実施した。支援を受けた人の満足度は高く、翌年の予約が入るなどしており、サービスの利用希望は徐々に増加しつつある。

## 7 今後の課題等

### (1) 出前健康サロンの開催

今後の展開の方向としては、地域集会所の活用や地域の自主運営への誘導を通じて地域・回数の拡大を図るとともに、ミニデイサービスとの協働・連携を通じて広域交流サロンの充実を図っていくことが考えられる。

## (2) ちょっとした困りごとの生活支援と安否確認の実施

今後の展開の方向としては、掃除、洗濯、買物、食事など新たな分野への支援範囲の拡大を図っていくことが考えられる。なお、内容によってはシルバー人材センターなど他の組織に依頼する方が良い場合もあるので、相談に対するコーディネートの方法が検討課題として挙げられる。

## 8 実施状況



出前健康サロン



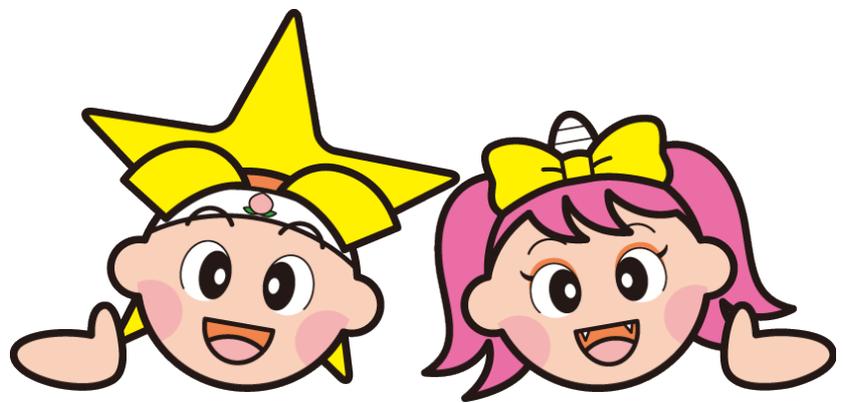
出前健康サロン



出前健康サロン



ちょっとした困りごとの生活支援



©岡山県「ももっち・うらっち」

## 平成27年度協働事業提案募集採択事業の概要 No.3

1 事業名 : 高齢者パワーを地域で生かし、健康寿命延伸

2 実施団体名 : にいみフォーラム

3 協働担当課 : 新見地域保健課地域保健班

### 4 事業概要

高齢化が進んでいる新見市では、高齢者がいきいきと元気に年を重ねる健康寿命の延伸が重要課題となっている。そのため、高齢者自身が支えられる側ではなく、今まで培ってきた知識や経験を活かして社会を支える側になるよう、個々の高齢者の健康づくりへの意識を変えるとともに、地域コミュニティの絆を強化するため、シンポジウムを開催し、地域で活動している他団体に健康づくりを普及啓発する。

### 5 事業の流れ等

#### (1) 会議

- |              |     |        |     |
|--------------|-----|--------|-----|
| ① 事業打合せ会     | 1回  | 参加人数   | 10人 |
| ② フォーラム運営委員会 | 10回 | 延べ参加人数 | 96人 |
| ③ 協働事業運営会議   | 8回  | 延べ参加人数 | 72人 |

#### (2) シンポジウム

日 時 : 平成27年10月16日(金) 13:00~16:00

場 所 : まなび広場にいみ 小ホール

参加人数 : 130人

内 容 :

○基調講演「高齢者パワーで健康長寿」～地域力で豊かな人生～

講師 鳥取大学医学部教授 尾崎 米厚

○パネルディスカッション

- ・栄養改善協議会福本支部
- ・健康運動実践者
- ・高尾長寿クラブ
- ・思誠地区社会福祉協議会
- ・正田がんこじいさんの会

### (3) 啓発活動

- ④ シンポジウム記録集、啓発活動用資料、啓発活動マニュアルの作成
- ⑤ モデル地区での啓発活動 4回 延べ参加人数 80人

## 6 成果・効果

シンポジウム実施後のアンケートでは、地域の健康づくりに取り組めそうかという問いに対し、できるが23%、みんなと一緒にだとできるが67%だった。基調講演の中で、健康づくりに取り組むということは、自分で特別に何かを始めることではなく、地域社会の中で、みんなで生き甲斐や役割を見出すことも健康づくりへの貴重な一歩になるということが理解されたように思う。

また、高齢者の力を地域力と感じ、生き生き活動しているのに感動した。人のためになるだけでなく、自分のためにもなり、生き甲斐のある生活をして元気に過ごしたいなどの意見が出ており、住民主体で健康づくりに取り組む活動の大切さが認識された。

運営会議を何度も実施する中で、にいみフォーラムの会員自らが何をすべきなのかを自覚することができ、シンポジウム終了後も、普及啓発をするための方策を考え、会員用マニュアルを作成するなど、積極的に活動に取り組む姿勢が見られた。

## 7 今後の課題等

新見市健康づくり課、地域包括支援センター、社会福祉協議会がそれぞれに地域で進めている健康に関する事業と、どう連携をとっていくかがとても重要である。すでに、地域の中では、一緒に事業を進めているところもあるが、新見市全域にまで広がっていないので、地域差が出ないように、市全体へ活動が波及するような体制をとる必要がある。行政だけでなく健康づくりをテーマに、いろいろな地域活動団体とネットワークを形成するためには、無理せず、楽しみながら地域を支えることができる活動を継続していかなければならない。

また、まだまだ地域の中で有能な人材が眠っている場合もあるので、そのような人材を発掘するとともに、いかに地域活動に参加してもらうようにするかを考える必要がある。

## 8 実施状況

	
<p>シンポジウム会場</p>	<p>開会あいさつ</p>
	
<p>尾崎先生講演</p>	<p>シンポジウム①</p>
	
<p>シンポジウム②</p>	<p>質問者</p>



©岡山県「ももっち・うらっち」

## 平成27年度協働事業提案募集採択事業の概要 No.4

- 1 事業名 : 備中矢掛まるごと博物館
- 2 実施団体名 : 備中矢掛宿の街並みをよくする会
- 3 協働担当課 : 地域づくり推進課市町村連携班

### 4 事業概要

備中矢掛地域には先人から受け継いだ豊富な歴史遺産や文化遺産があり、これらを現代の視点から新たに見直し、地域全体を「まるごと博物館」としてとらえ、この地域を理解し、この遺産を後世へと引き継いでいくため、地域遺産を巡るツアー、伝統芸能（備中神楽）上演、古代山陽道に関するシンポジウム開催等の各種事業を実施する。

また、地域の文化遺産を紹介する冊子を作成し事業参加者等に配布するとともに、誘客を図るため入館証と名付けたスタンプラリー（事業に参加する度にスタンプ押印）を実施する。

### 5 事業の流れ等

#### (1) 神社仏閣ツアー

- ①開催日 第1回 平成27年10月4日（約15名参加）  
第2回 平成27年12月13日（約15名参加）  
第3回 平成28年2月7日（約30名参加）

- ②概要 地域遺産である神社仏閣等（大通寺、吉備真備公園、福武邸等）を巡るもの

#### (2) 備中神楽堪能会

- ①開催日 平成27年12月12日（延べ約300名参加）
- ②場所 やかげ町家交流館
- ③概要 伝統芸能である備中神楽を10時間にわたり上演するもの

#### (3) 古代山陽道シンポジウム

- ①開催日 平成28年1月24日（約150名参加）
- ②場所 矢掛町農村環境改善センター
- ③概要 「古代備中と山陽道」と題した大学教授による基調講演の他、町教育委員会職員等が地域の遺跡について発表するもの

#### (4) 備中菓子博覧会

- ①開催日 平成 28 年 2 月 7 日（延べ約 400 名参加）
- ②場所 やかげ町家交流館
- ③概要 地域に伝わる伝統的な菓子等を集め、試食販売等を行うこと等により、その歴史、背景等を学ぶもの

### 6 成果・効果

- ・開催行事が複数回新聞等に取り上げられるなど、地域住民にとって普段気付かない地元の歴史的遺産を見直す契機となった。
- ・参加者数は行事によってばらつきがあるが、近隣地域から人が集まることにより地域活性化や観光振興に繋がった。
- ・年間を通して複数の行事を問題なく開催することにより、団体において行事開催に係るノウハウを蓄積するための貴重な経験とすることができた。

### 7 今後の課題等

- ・行事の開催地域が矢掛町に限られていたため、備中地域全域への広がりが望まれる。
- ・多くの行事が参加費無料であったため、今後も継続的に事業を実施するためには財源の確保が必要となる。
- ・実施団体が主となり企画運営を実施したが、団体としても人手が十分でなく、より円滑に事業を実施するため、例えば係員として高校生の参加を募集するなど、団体としてさらなる人員の確保が必要である。

8 実施状況

	
<p>神社仏閣ツアー</p>	<p>神社仏閣ツアー</p>
	
<p>備中神楽堪能会</p>	<p>古代山陽道シンポジウム</p>
	
<p>備中菓子博覧会</p>	<p>チラシ</p>



©岡山県「ももっち・うらっち」

## 平成27年度協働事業提案募集採択事業の概要 No.5

1 事業名 : 高梁川トレイルによる風土ツーリズム開発

2 実施団体名 : 一般社団法人水辺のユニオン

3 協働担当課 : 地域づくり推進課振興班

### 4 事業概要

高梁川流域のトレイルルートの開発や、トレイルに関するシンポジウムの開催、オープンデータ活用のトレイルマップづくりを行う。

### 5 事業の流れ等

#### (1) ミーティング

- ・トレイルコースは、以下の3つのコースを設定
  - ①備中高梁臥牛山コース（高梁市内→備中松山城→高梁美しい森→豪溪）
  - ②吹屋往来とと道コース（高梁市成羽地区→吹屋地区）
  - ③倉敷川とともに歴史文化を辿るコース（倉敷美観地区→藤戸→児島）
- ・HPとFacebookを開設し、モニターツアーの参加募集を行った。

#### (2) トレイルコース下見調査・トレイル整備

- ・上記コースの下見を行い、倒木や雑草が密集している場所は、倒木除去などのルート整備を行った。

#### (3) モニターツアーの実施

##### ①備中高梁臥牛山コース（参加者：10名）

- ・日時 : 平成27年10月4日（日）
- ・場所 : 高梁駅→備中松山城→臥牛山→高陣→吉備国際大学

##### ②吹屋往来とと道コース（参加者：11名）

- ・日時 : 平成27年11月8日（日）
- ・場所 : 高梁駅→高梁市宇治地域センター

##### ③倉敷川とともに歴史文化を辿るコース（参加者：15名）

- ・日時 : 平成27年12月5日（日）
- ・場所 : 倉敷駅→阿知神社→藤戸寺→熊野神社→五流尊瀧院→木見駅

#### (4) オープンデータマップの制作

- ・コースごとに実測し、オープンデータを作成。
- ・独自に立ち上げたHP上に、データを搭載し、情報発信を行った。

(5) 高梁川ミーティングの開催（高梁川流域学校の報告会内で実施）

- ・日時：平成28年2月6日（土）10:00～12:00
- ・場所：倉敷中央病院大原記念ホール
- ・参加者：100名
- ・内容：高梁川トレイルについて実施状況について報告するとともに、公益社団法人日本環境教育フォーラム理事長から、トレイルの広め方等についてアドバイスをもらった。

6 成果・効果

- ・モニターツアー参加者から高い評価を得ることができ、「高梁川トレイル」が当初想定していた以上に魅力的な企画であり、「風土ツーリズム」という新しい価値を拓くことのできる商品だと確認できた。
- ・地域の人に案内人になってもらい、案内人を通じて、さらに地域の人とのつながりを広げることができた。

7 今後の課題等

- ・トレイルに考えていたルート内に私有地もあることが事前調査で判明。客観的な事前調査が不可欠である。
- ・また、ルート整備には時間と労力、費用がかかるため、トレイル整備の仕組みを検討する必要がある。
- ・トレイル参加者の体力や体調に対する配慮を徹底したプログラムを作る。

8 実施状況

	
備中高梁臥牛山コース	吹屋往来とと道コース
	
倉敷川とともに歴史文化を辿るコース	高梁川ミーティング

## 平成27年度協働事業提案募集採択事業の概要 No. 6

1 事業名 : 「龍の仕事展」を大学生の人材育成として活用した  
インターンシッププログラムの開発

2 実施団体名 : 龍の仕事展実行委員会

3 協働担当課 : 地域づくり推進課振興班

### 4 事業概要

「龍の仕事展」を活用し、大学生が自己啓発力・自己教育力・地域戦略を身につけることのできる人材育成プログラムを産-官-学の連携で開発する。

### 5 事業の流れ等

#### (1) 参加大学の拡大・学生の募集 (計32名)

今年度は管理体制を大学から事務局に移し、HPから直接学生が申し込み、学生が自らの意志で参加する方法に変更。4月には実行委員の各大学へ協力を打診。新たな大学に実行委員会への参加を依頼。6月上旬まで学生の募集をした。

##### ア 参加学生の所属大学 (6大学)

岡山県立大、倉敷芸術科学大、就実大、吉備国際大、くらしき作陽大、川崎医療福祉大

##### イ 実行委員会へ新たに参加した大学 (2大学)

中国学園大、就実大 → 実行委員会11大学に

#### (2) 事前研修・直前研修を開催 (会場: 備中県民局、倉敷天文館彰邦館)

昨年の倍の時間をかけて事前研修を実施。また新たに直前研修を今年度から追加で実施した。

##### ア 事前研修

キックオフセミナー・ケーススタディ等の内容で、1回約6時間、6月7日～8月17日までの間、補講を含め計4回実施、計32名が受講。

##### イ 直前研修

参加目標発表、龍の仕事展中の行動計画の作成等の内容で、1回約6時間、8月30日・9月6日で補講含め計2回、計32名が受講。

### (3) 企業研修の実施

学生がエントリーシートに記入した希望企業と事前研修の評価により、担当する企業のマッチングを実施。7月16日～9月11日の間に26企業・団体で計31名の学生が会社訪問や工場見学等の企業研修に参加した。

### (4) 「龍の仕事展2015」会場での接客・販売等の研修を受講

(会場：倉敷アイビースクエア内アイビー学館)

龍の仕事展中、朝・夕とミーティングを開き、皆の前でその日の課題と目標を発表、それに対し取り組んだ成果報告を毎日行い、反省と課題解決の方法を皆で考えるPDCAサイクルを回すプログラムを実施した。

9月13日～21日の間で実施し、計32名が受講・4名がサポートとして参加。

### (5) 事後研修の実施 (会場：備中県民局、倉敷天文館彰邦館)

経験を後の将来設計やキャリア設計に反映できる事後研修(成果発表会)を開催。1回約5時間、9月27日・10月18日の計2回実施、計28名が参加。

本年度はプログラム全体に対し、参加条件を十分に満たした学生に対し研修修了証を、活動において優秀であった学生には優秀修了証を、必須の研修を受けなかったり参加日数が条件に足りなかったりした学生には参加証の3種を発行し学生の評価とした。

### (6) 一般公開成果発表会の実施 (会場：倉敷商工会議所)

参加企業や一般の方々に対して、学生代表6名が成果発表を行った。またその成果発表のため、11月6日～11月30日の間、計8回の研修を実施。

## 6 成果・効果

龍の仕事展について、昨年に比べ1日祝祭日が少ない日程から目標を8,500人と予測したが、結果14,597名(前年度比131.1%)の来訪者を迎え昨年を上回った。更に、集中レジの売上も300万円を超え、過去最高(全体で3,677,687円)になり、昨年よりも更にプログラムの成果が数字になって表れた。

また、学生アンケートについて、本プログラムが自分の今後のキャリア設計に役立つと回答した学生が大半であり、人材育成プログラムとして大きな成果を残したと言える。

## 7 今後の課題等

### (1) 全体のタイムスケジュールの見直し

参加学生の募集を5月中旬までに終えるスケジュールはかなり困難であった。結果、追加募集を再三行い、事前研修も4回行うこととなった。これを是正するには大学での事業説明を開催することが挙げられる。

### (2) 募集の段階

#### ア 目的の明確化

昨年より大きく改善された。さらに明確にするためには大学での事業説明を開催することが挙げられる。

#### イ エントリーシートの充実

昨年より大きく改善された。メールのやり取りでは事務局からのメールを有効にさせることを徹底させる必要がある。

#### ウ 学生情報のスマート化

昨年より大きく改善された。申し込みの手順を解説するページを追加することでより改善される。

## 8 実施状況



HPでの募集



事前研修



企業研修



直前研修



龍の仕事展：ミーティング



成果報告会

## 平成27年度協働事業提案募集採択事業の概要 No.7

- 1 事業名 : 玉島に一人でも多くのお客に来ていただく
- 2 実施団体名 : NPO法人 NPO法人備中玉島観光ガイド協会
- 3 協働担当課 : 地域づくり推進課振興班

### 4 事業概要

観光ガイドブックの作成、SNS等による観光情報発信等により、玉島の知名度アップと観光客の増加を図る。

### 5 事業の流れ等

#### (1) 玉島観光全書の作成

観光ガイドのためのガイドブック「玉島観光全書」を作成した。主な観光ガイド情報を冊子化し、資料的なデータはCDに格納して配布した。

#### (2) 観光情報発信

ネット（ブログ、HP、FB）による情報発信をほぼ毎日実施。また、観光コースを旅行業者へ適宜案内した。更に、他団体等の会議へ参加し、そこで団体の活動のPR等を実施した。

#### (3) お客さんに丁寧な案内

観光ガイド研修として、月2回の研修及び合宿研修を1回実施。また、小学校の出前講座を実施。観光客の要望を聞いて、ルート等を作成し、再度訪れたいような楽しいガイドを心掛けた。

#### (4) 受け入れ態勢の整備

観光客に合わせた資料の提供、駐車場の手配や商店との協働を進めた。

#### (5) 歴史勉強会を実施（6～10月まで毎月1回、計5回）

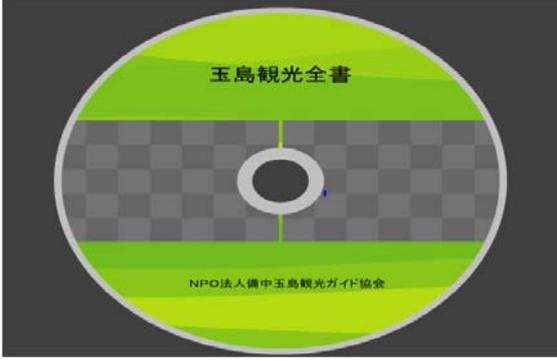
### 6 成果・効果

- ・玉島観光全書（観光ガイド用のガイドブック）の作成
- ・案内した観光客数3,867名 21年度比305%
- ・案内した修学旅行生（学校）が京都、大阪、奈良、山陰に拡大
- ・ネットでの観光ガイドの申込みの増加
- ・ガイド研修、歴史勉強会によるガイドの質の向上
- ・出前講座の実施（3校、310人）

## 7 今後の課題等

- ・他団体との更なる関係強化、他団体と共に玉島への集客を図る。
- ・地域課題解決による観光に係る環境整備（耕作放棄地・ミカン園の対策）
- ・新たな観光ガイドボランティア（後継者）の育成、募集

## 8 実施状況

	
<p>ガイドの様子</p>	<p>観光情報発信（F B）</p>
	
<p>玉島観光全書（CD）</p>	<p>ガイド研修</p>
	
<p>出前講座</p>	<p>歴史勉強会</p>

## 平成27年度協働事業提案募集採択事業の概要 No.8

1 事業名 : 大学留学生との交流をとおしての地域の活性化事業

2 実施団体名 : 輝け！江良元気会

3 協働担当課 : 地域づくり推進課振興班

### 4 事業概要

本事業は、大学留学生との交流をとおし、「地域のひと・もの・こと」を活用し地区住民の総意と工夫で地域の活性化事業を行う。

### 5 事業の流れ等

6月21日	田植え（参加留学生5名）
8月1～2日	ホームステイ（参加留学生10名）
9月30日	保育園との交流＜栗拾い＞（参加留学生6名）
10月11～12日	ホームステイ（参加留学生12名）
10月25日	稲刈り（参加留学生4名）
11月8日	ウェルカムパーティ（参加留学生60名）
12月5日	若宮サロンとの交流（参加留学生6名）
1月9日	保育園との交流＜凧あげ＞（参加留学生9名）
1月17日	反省会

### 6 成果・効果

- ・事業を進める上で、準備や交流への参加などにより、地区の住民が互いに協力することができ、住民間の絆が深められた。
- ・住民が、留学生との交流で、気楽に話しかけるようになっており（特に子供たち）、国際理解が進んだ。
- ・ホームステイに参加した留学生が、この事業以外でも、頻繁に江良を訪れたり、メールなどでホストファミリーと頻繁に連絡を取り合うなど、自主的に交流を深めていた。
- ・この事業に影響を受けた住民有志が、神輿を60年ぶりに復活させた。秋祭りの時、ホームステイに参加していた留学生が、住民と一緒に神輿を担いで地域内を練り歩いた。

## 7 今後の課題等

- ・留学生との交流は、まだ始まったばかりであり、必ずしも十分なものとなっていない。交流が目的であることを再認識し、今後、住民と留学生の交流をより促進し、地域の活性化につなげるものとする必要がある。
- ・中学生や高校生の参加が少なかった。これからの時代を担う若者に、もっと気軽に参加してもらえるように考えなければならない。

## 8 実施状況

	
<p>田植え 留学生に話しかける子どもたち</p>	<p>田植えをした場所に設置された看板 留学生と地域住民で作成</p>
	
<p>保育園との交流&lt;栗拾い&gt; 保育園児と交流する留学生</p>	<p>ホームステイ 祭りで地域住民と交流する留学生</p>
	
<p>稲刈り 刈った稲を束ねて天日干しにする</p>	<p>ウェルカムパーティ 全員で記念撮影</p>

## 平成27年度協働事業提案募集採択事業の概要 No.9

1 事業名 : 備中地域づくり実践講座の開催

2 実施団体名 : 備中田舎カレッジ連絡会議

3 協働担当課 : 地域づくり推進課振興班

### 4 事業概要

高梁市及び新見市で、地域づくりの担い手を増やし、裾野を広げるための「地域づくり実践講座」を開催する。開催に先立ち、地元自治体や地域で活躍するキーマンの協力を得るため、ヒアリングを行う。

### 5 事業の流れ等

#### 【高梁市】

6月11日 講座開催のための現地視察

8月5日 塾生募集開始（募集期間8月5日～9月4日）

8月20日 プレセミナー開催（場所：高梁市文化交流館）  
参加者：20名

9月18日 第1回講座開催（場所：高梁市松原町）  
参加者：21名（うち塾生7名）

10月15日 第2回講座開催（場所：高梁市宇治町）  
参加者：26名（うち塾生7名）

11月19日 第3回講座開催（場所：高梁市成羽町吹屋）  
参加者：23名（うち塾生6名）

12月18日 マイプランブラッシュアップ勉強会（場所：高梁市松原町）  
参加者：12名（うち塾生7名）

2月1日 最終発表会（場所：高梁総合文化会館）  
参加者：16名（うち塾生5名）

#### 【新見市】

2月20日 意見交換会（場所：新見市内） 参加者：5名

### 6 成果・効果

#### 【高梁市】

- ・塾生が、地域で活躍している方の講演を聞いたり、塾長からのプランやプレゼンに対する指導を受けることで、自分の地域で実践する等身大のプランを

作ることができた。

- ・カレッジに関わった塾生の間で一体感が高まるとともに、塾長、ゲスト講師など関係者との輪ができ、さらに人間関係が広がるきっかけ作りができた。

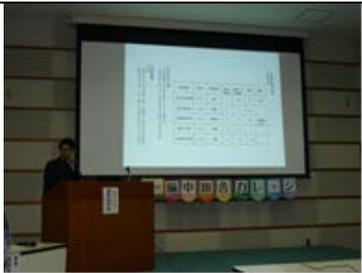
#### 【新見市】

- ・地域への日常的な関わりを望む学生と、地域の方の想いとのズレを感じ、どこを繋いでいけば良いかが見えた。

### 7 今後の課題等

- ・地元の人を中心となってカレッジを運営していくことが重要であり、地元のキーマンの理解を得る必要がある。また、終了した塾生を、経験者としてカレッジに関わっていける繋がりづくりが必要である。
- ・開催に当たって、安定した塾生数の確保を図ることが必要である。

### 8 実施状況

	
高梁市 講座開催のための現地視察	高梁市 プレセミナー
	
高梁市 第1回講座	高梁市 第2回講座
	
高梁市 第3回講座	高梁市 最終発表会

皆さんの力が  
必要です！

岡山県備中県民局

# 協働事業提案募集

岡山県備中県民局では、地域の諸課題を解決し、個性豊かで活力ある「生き生きおかやま」を実現するため、NPO、市民活動団体、町内会、ボランティア団体など多様な主体との協働の取り組みとして、『協働事業提案募集』を実施します。

皆さんの自由な発想と情熱で、『備中の地域づくり』に参加しませんか？



## 募集テーマ

詳しくは次ページを見てね！

### ◎指定テーマ

備中県民局管内の様々な諸課題や、今後取り組むべき事柄について、8つの具体的なテーマを設定しています。この中から選択したテーマに沿って、事業を提案してください。

### ◎自由テーマ

指定テーマには該当しないものであっても、協働のテーマとしてふさわしく、かつ必要・効果的と認められる事業であれば、提案してください。

## 応募方法等

所定の応募用紙に必要事項を記入し、必要書類を添付のうえ、郵送、持参、FAX、Eメールのいずれかにより右記提出先まで提出ください。

応募様式及び詳細な内容は、「平成27年度岡山県備中県民局協働事業提案募集要項」に掲載しています。応募される場合は、必ずこちらもお読みください。

要項・様式は、右記問い合わせ先及び備中県民局管内各地域事務所地域総務課で配布するほか、備中県民局ホームページからもダウンロードできます。

## 募集期間

平成26年 12月19日(金)～  
平成27年 1月30日(金)  
(最終日消印有効)

### 提出・お問い合わせ先

〒710-8530 倉敷市羽島1083  
岡山県備中県民局 地域づくり推進課 市町村連携班  
TEL : 086-434-7003(直通)  
FAX : 086-426-9305  
E-mail : bichu-chisei@pref.okayama.lg.jp

指定テーマは以下に掲げる8項目です。このテーマに沿って事業提案をお願いします。

なお、指定テーマ以外であっても、協働のテーマとしてふさわしく、かつ必要・効果的と認められる事業があれば、自由テーマとしてご提案ください。

※ 本事業は平成27年度に実施するものであることから、岡山県議会における平成27年度当初予算において、関係予算が成立することが条件となります。

### ① 子どもと若者が健やかに育つ社会づくりの推進

備中県民局管内の各地域の現状と課題を踏まえ、子どもと若者が健やかに育つ社会づくりを推進するために効果的な事業の企画・運営

【例えば・・・】

- ・子どもや若者が触れ合う居場所づくりの企画・運営
- ・地域で子どもが参加するボランティア活動や社会貢献活動の企画・運営
- ・子どもや若者が事故や犯罪に巻き込まれないための取組の企画・運営
- ・発達障害の不安や悩みを持つ人やその家族が相談できる場等を提供する取組の企画・運営

### ② 高齢者が生き活きと暮らせる支え合いの体制づくり

備中県民局管内の各地域の現状と課題を踏まえ、高齢者の日常生活の安全確保、元気な高齢者の介護予防など、高齢者が生き活きと暮らせる支え合いの体制づくりを推進するために効果的な事業の企画・運営

【例えば・・・】

- ・高齢者の生きがい、健康づくりの効果が期待できる活動の企画・運営
- ・高齢者と子ども、若者が触れ合う居場所づくりの企画・運営
- ・高齢者の日常生活の安全確保のための取組の企画・運営

### ③ 備中の地域・伝統文化の発信

備中地域の個性ある文化等をクローズアップし、広く情報発信を行うことにより、地域の文化振興を図る事業の企画・運営

【例えば・・・】

- ・備中地域の個性ある産業、歴史、伝統、食など地域の特色を踏まえ、内外に情報発信することができるシンポジウム等の企画・運営
- ・特定地域を対象とするのではなく、備中の広域的エリアを舞台とすることにより、「文化で備中を結ぶ」ことが期待される取組

### ④ 産業・観光の振興

備中地域の「強みを活かした産業競争力の強化」や「雇用の確保」等、産業の振興に効果的な事業の企画・運営

【例えば・・・】

- ・就職促進のため、就職に必要な知識、技能を習得させるための研修や、受講者の適性とニーズに即した訓練等の企画・運営
- ・着地型観光や産業観光のスポットやルートの開発及びそれらを定着させるための事業の企画・運営
- ・地域資源を活用した特産品づくりや地域の産業振興につながるセミナーの開催

## ⑤ 体験型環境学習事業の実施

大気・水環境・地球温暖化等の問題に対し、森林との関係や里山・里海が果たす役割、ライフスタイルの見直しの必要性等、環境保全意識の高揚や環境改善への取組の推進につなげるための、小学生等を対象にした体験型環境学習の企画・運営

【例えば・・・】

- ・ 汚水処理場や自然エネルギー関連施設(メガソーラー、バイオマス等)、エコ住宅等の施設見学事業の企画・運営
- ・ 河川の源流地域の森林や里山、里海をフィールドとして自然体験学習ができるエコツアー事業の企画・運営
- ・ ソーラークッカーや自転車発電などの機材を使った省エネルギー体験事業の企画・運営
- ・ 地球温暖化や気象に関する実験、星空観察等の事業の企画・運営

## ⑥ 私たちのくらしと土木

安全で安心な生活を送ることに不可欠な土木施設(道路、河川、海岸、港湾、公園等)について、魅力や重要性を周知し、理解を深めるための事業の企画・運営

【例えば・・・】

- ・ 防災意識の向上や土木施設の重要性を再認識するイベントの開催
- ・ 歴史的土木遺産等の見学会の企画・運営
- ・ 学生を対象とした建設現場見学会等の開催
- ・ 子どもを対象とした身近な建設機械とのふれあいイベントの開催

## ⑦ 中山間地域・離島の活性化の推進

企業や教育機関、NPO等と中山間地域・離島が連携した地域活性化のための企画・運営や、地域の農業者の活動に加え、地域内外の多様な人々の支援を活用した耕作放棄地の解消等

【例えば・・・】

- ・ 都市部から中山間地域・離島への移住者を増加させるための交流会、ツアー等の企画・運営
- ・ 中山間地域・離島と都市部の若者がつながるインターンシップ等の企画・運営
- ・ 消費者や企業等、多様な主体による地産地消や食育推進など、地域活動の場としての遊休地の活用に向けた企画・運営
- ・ 耕作放棄地の発生防止策の検討・実証

## ⑧ 食と農をつなぐかけはし推進活動

備中地域の多彩な食材を活用し、生産者と消費者の相互理解を深めるイベントの開催や、6次産業化や農商工連携による新商品の開発等により、ブランド力の向上を図る取組の企画・運営

【例えば・・・】

- ・ 農作業体験など、消費者と生産者の交流によって農林水産業を身近に感じ、次世代へつなぐ活動の企画・運営
- ・ 地域食材を活用した料理教室の開催やレシピの提案・普及
- ・ 果物や野菜を使ったスイーツの開発、商品化及び販路開拓
- ・ 地域食材を使ったレストランメニューの開発やイベントの開催
- ・ 子供を対象とした、食育活動やイベントの開催

## ○応募資格

岡山県内に事務所又は備中県民局管内に活動場所を有する団体で、次の要件を全て満たす団体とします。また、複数団体をメンバーとし、応募することも可とします。

なお、個人は対象としません。

1. 備中県民局管内で事業実施できること。  
※備中県民局の管内は、倉敷市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、浅口市、早島町、里庄町、矢掛町の7市3町です。
2. 提案事業の遂行に必要な組織・人員を有し、備中県民局と協働し、提案事業を最後まで適正に実施でき、実績報告が提出できること。
3. 組織の運営に関する規則（規約、会則等）又はこれに準ずるものがあること。
4. 予算・決算を適正に行っていること。
5. 原則として、1年以上継続して活動していること。  
（任意団体が特定非営利活動法人化した場合は、任意団体活動歴を含む。）
6. 宗教活動や政治活動を主たる目的とした団体ではないこと。
7. 特定の公職者や政党を推薦し、支持し、反対することを目的とした団体ではないこと。
8. 暴力団又はその構成員の統制下にある団体ではないこと。

## ○応募できる事業数

1団体あたり2事業まで応募できるものとします。ただし、自由テーマを除き、同一テーマでの2事業の応募は不可とします。

## ○応募制限

同一事業の採択は4回までとします。それを超えての応募はできません。

## ○審査・選考及びプレゼンテーション

1. 審査、選考は、学識経験者、NPO関係者等から構成された「備中県民局協働事業審査委員会」が行います。
2. 第一次審査（書類選考）で選考された提案について、第二次審査（プレゼンテーション／最終選考）を実施しますが、当日ご参加いただけない場合は、審査の対象外となります。

## ○協働事業協定書の締結（事業化の決定）

第二次審査で選考された提案を提出した団体は、事業内容等について備中県民局の担当部所と協議を行い、合意を得た場合に事業化が決定することとし、合意内容を記載した協定書を締結します。

※ 第二次審査で選考された段階では、まだ事業化の決定ではありませんので、ご注意ください。

## ○募集事業の条件

協働実施する事業は、「募集テーマ」に沿ったもので、次の条件の全てを満たす事業とします。

1. 公益的、社会貢献的の事業であり、広く社会的課題の解決が図られること。
2. 備中県民局と協働することにより、相乗効果が得られる事業であること。
3. 地域住民のニーズが認められ、実施により地域住民の満足度が高まる事業であること。
4. 特定の地域を対象とする事業については、先進性、先駆性が認められ、他の地域への波及が期待できるものであること。
5. 予算見積が適正であり、必要最小限の経費となっていること。
6. 原則として、平成27年度の単年度事業であること。  
（終期：原則として、平成28年2月末）

### ※ 対象外とするもの

次のいずれか1つに該当する事業は、対象外とします。

- ① 営利を目的とする事業
- ② 特定の個人や団体のみが利益を受ける事業
- ③ 施設等の建設及び整備を目的とする事業
- ④ 岡山県から他の予算により助成を受けている（受ける計画のある）事業

※ その他、県の他の補助事業に応募可能な事業は、採択を見合わせる場合があります。

- ⑤ 国、他の地方公共団体及び他団体からの助成等を受ける計画のある事業で、その助成が受けられなかった場合、事業の執行ができなくなる（事業縮小、資金調達ができない）事業

## ○備中県民局の経費負担

1. 事業費のうち備中県民局が負担する経費は、提出された事業計画書や収支予算書により事業毎に判断することとします。  
（選考されても申請額どおり認められない場合もあります。）
2. 備中県民局の負担する経費については、次の取扱とします。
  - ① 採択1回目の事業は、補助率10分の10とし、上限を1件につき200万円とします。
  - ② 採択2回目から4回目の事業は、補助率2分の1とし、上限を1件につき100万円とします。
3. 実施する事業の執行に直接必要とする経費を負担するものとし、事業と関わりのない経費（団体の管理運営費等）は対象外とします。
4. 備中県民局が事業経費を負担した場合において、事業実施後に余剰金が発生した場合は、返還を求めます。

## ○事業の流れ（スケジュール）

公募期間	→	第一次審査	→	第二次審査	→	事務説明会	→	関係部所	→	協定書の締結	→	事業	→	事業評価
		（書類選考）		（プレゼンテーション）		の開催		との調整		事業開始		実施		
H26.12.19～H27.1.30		H27.3中旬		H27.4.20（月）		H27.4下旬								H28.3
		<結果通知>												

## 5 備中県民局協働事業審査委員会の概要

### (1) 協働事業審査委員会（以下「審査委員会」という。）

協働提案募集事業の審査・評価を行うとともに、備中県民局の協働事業全般についての意見、助言を求める目的で、平成22年度に設置したものの。

### (2) 平成27年度審査委員会委員

- ・松畑 熙一（委員長） 中国学園大学・中国短期大学 学長
- ・岡崎 順子 岡山県立大学保健福祉学部 教授
- ・高平 亮 岡山NPOセンター 理事
- ・古賀 桃子 ふくおかNPOセンター 理事長
- ・黒宮亜希子 吉備国際大学外国語学部 講師
- ・藤原 裕子 倉敷市市民協働推進部次長（兼 市民活動推進課長）

### (3) 平成27年度における審査委員会等開催状況

#### ア 第1回審査委員会

○日時 平成27年4月20日（月）9:00～15:45

○場所 備中県民局会議棟第4～第6会議室

○主な内容

平成27年度協働事業提案募集における第二次審査(団体によるプレゼンテーション)を実施し、応募のあった26事業のうち、第一次審査を通過した14事業について審査した結果、9事業を採択した。

#### イ 協働事業提案募集制度の協議

○日時 平成27年10月～11月

○場所 審査委員会委員勤務先等

○主な内容

- ・平成27年度協働事業提案募集制度における採択事業の進捗状況について

#### ウ 平成28年度協働事業提案募集制度第一次審査(書類審査)

○日時 平成28年2月～3月

○場所 審査委員会委員勤務先等

○主な内容

平成28年度協働事業提案募集により応募のあった23事業について、第一次審査（書類審査）を各審査委員会委員が実施し、その結果、12事業が第一次審査を通過した。

エ 第2回審査委員会

○日時 平成28年3月17日（木）13:00～16:00

○場所 備中県民局会議棟第1～第3、第5会議室

○主な内容

平成27年度に協働事業提案募集制度により採択された9事業について、事業実施団体が結果報告プレゼンテーションを行い、審査委員会委員が講評等を行った。



第1回審査委員会の様子（その1）



第1回審査委員会の様子（その2）



第2回審査委員会の様子（その1）



第2回審査委員会の様子（その2）

## 6 協働研修の実施状況

### (1) 第1回研修

平成27年度における第1回の研修として、鳥取県智頭町を訪問し、百人委員会、日本1/0村おこし運動、疎開保険等について行政担当者から話を伺うとともに、集落をNPO化し、交流事業を活動の柱として伝統文化の継承にも取り組んでいる新田集落の現地視察を行った。

日 時	平成27年11月26日(木) 8:10~17:30
場 所	鳥取県八頭郡智頭町
参加者	備中県民局職員、市町職員、自治会役員、公民館職員 26人
視察先	智頭町役場、智頭宿・石谷家住宅、新田集落
内 容	百人委員会、日本1/0村おこし運動、疎開保険 等
状 況	○研修の様子



(2) 第2回研修

地域経済活性化支援機構常務取締役兼慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科特別招聘教授の保井俊之さんを招き、地域課題の解決・地域活性化に向けた地域イノベーションの起こし方について学ぶ研修会を実施した。

日 時	平成28年1月27日(水) 13:30~17:00
場 所	備中県民局会議棟1階
参加者	県職員、市町職員、NPO職員、自治会役員等 38人
講 師	保井 俊之 地域経済活性化支援機構常務取締役 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科特別招聘教授
内 容	人口減少下の地域イノベーションの起こし方： 地域課題の解決と地域活性化に向けて、住民と地方自治体と地域金融機関と企業の協働と協創をつくる仕組み ○第1部(講演) 地域活性化方法論の近年のパラダイムシフト ○第2部(ワークショップ) システム×デザイン思考ワークショップ
状 況	○研修の様子



## 7 平成22年度～平成26年度における協働事業提案募集採択事業の概要

※ 事業概要については、採択時のものであり、その後の調整により変更となっている場合がある。以下同じ。

### (1) 平成26年度採択事業

事業名	団体名	事業概要
さあ のはらへいこう 里山を歩こう事業	NPO法人 吉備野工房ちみち (総社市)	大人が子どもの自主性を信じた育児方法を知ることがを目的に、次の事業を行う。 ・映画上映会 ・講演会 ・里山歩き
地元の食材を使ったお料理広場による子育て応援事業	よりはぐプロジェクト (倉敷市)	地元食材を使ったお料理広場を年間13回程度開催し、それを通じて子育て支援を行う。
備中の文化である綿で玉島の町を白く埋め尽くし、復活、伝承、定着をはかる	NPO法人 備中玉島観光ガイド協会 (倉敷市)	備中地域に古くから伝わる綿の植樹、写真展、種の販売等を行い、伝統を継承し、観光資源等として生かしていく。
備中・町家クラス（備中地域の歴史的建築物を活用した暮らしの体験事業）	NPO法人 倉敷町家トラスト (倉敷市)	備中に残る町並み等を活用し、町家における暮らし体験など、種々のプログラムを実施する。
備中地域における教育現場での和楽器と邦楽の普及度の実態調査	一般社団法人 倉敷未来機構 (倉敷市)	備中地域の教育現場における和楽器に関する調査（和楽器の有無、和楽器を利用した活動の有無等）を行うとともに、和楽器体験モデル授業を行う。
「龍の仕事展」を大学生の人材育成として活用したインターンシッププログラムの開発	龍の仕事展実行委員会 (倉敷市)	龍の仕事展を、大学生のインターンシップの場として活用するとともに、学生受け入れに関するプログラムの作成等を行う。
みなと玉島発！産業観光でつながる「玉島バスセンター物語」	玉島商工会議所 (倉敷市)	産業観光コースを作成し、それらを巡るバスツアーを実施する。
荒廃茶園の復活再生と“地紅茶”で高粱を元気にする	百姓のわざ伝承グループ (高粱市)	廃園となった茶園を復活させ、都市と農村の交流を行うとともに、地紅茶を発信するイベントを開催する。
自閉症療育セミナー及び治療教育相談会	NPO法人 岡山県自閉症協会 (岡山市)	自閉症及び発達障害に対する理解を深めること等を目的に、セミナー及び相談会を開催する。
発達障がい連続勉強会&情報交換会	NPO法人 ていーたいむ (倉敷市)	発達障がいの子をもつ家族を主な対象として、発達障がいについて学ぶ勉強会と情報交換会を8回程度行う。
高校生による“備中で暮らすまちの匠（先人）への聞き書き”	「聞き書き」実行委員会 (総社市)	高校生が先人から話しを聞き、それを文章に書き、フォーラムにおいて発表する。

(2) 平成25年度採択事業

事業名	団体名	事業概要
こどもの安心・自信・自由を守るためのワークショップと講演	エンパワメントMOMO	子どもがあらゆる暴力から自分を守るためのCAP(子どもへの暴力防止プログラム)ワークショップを実施する。また、有識者による講演会の企画及び開催を行う。
備中地域町並み保全と活性化事業	備中地域町並み保全・活性化会議	平成25年9月に開催される「全国町並みゼミ倉敷大会」を踏まえ、その検証や実践としてバスツアーやワークショップを行い、備中地域の更なるネットワーク化や地域資源の発掘等を行う。
キビと薄荷による耕作放棄地の再利用化と低炭素化	元倉敷未来計画	備中特産として脚光を浴びてきたキビと薄荷の作付け拡大と普及の為に活動(植え付け、収穫、販売支援など)を行う。
備中の文化である綿で玉島の町を白く埋め尽くし、復活、伝承、定着をはかる	NPO法人 備中玉島観光がっパ協 会	耕作放棄地や観光コースに備中綿を植え、インターネットなどを通じ広報をすることで観光客を誘致する。また、出前講座・発表会などの開催により、綿文化の復元、伝承を行う。
都市住民との体験交流事業	矢掛町下高末棚田保全 組合	都市住民と、田植え祭り、稲刈り、野菜収穫、お飾りづくり、餅つき等を通じて、体験交流を行う。
おかやま備中暮らし支援プロジェクト	子ども未来・愛ネットワー ク	岡山へ保養・避難・移住を目指す人に対し、岡山県内の生活情報等を取りまとめた冊子等の制作及び情報発信、東北等における相談会における情報提供、交流体験プログラムの実施等を行う。
児島ジーンズ伝承 ～ものづくりの歴史と技術	児島ジーンズストリート推 進協議会	ジーンズづくりの歴史と技術に関わる資料・情報を集め、整理・保管・展示する「児島ジーンズアーカイブ」を作成し、それを利用した「ジーンズ塾」の企画・開催を行う。
備中高梁フィールドミュージアム事業 備中高梁の自然・歴史・文化を活用した体験型環境学習	NPO法人 フォレストフォーピープ ル岡山	備中高梁の自然・歴史・文化を活用し、幼・保育園児、小中学生等を対象とした各種プログラムを実施するとともに、他地域におけるフィールドミュージアム事業の取組等を紹介するシンポジウムの開催を行う。
荒廃茶園の復活と地紅茶のまち“高梁”の発信	百姓のわざ伝承グルー プ	荒廃茶園復活応援団を募集し、活動するとともに、地紅茶のまち‘高梁’発信イベント～紅茶ウィーク～を開催する。
自閉症療育セミナー及び治療教育相談会	NPO法人 岡山県自閉症協会	新見市内において、専門家を講師に招いたセミナーの実施及び専門家による個別の治療教育相談会の開催を行う。
高校生による備中で暮らすまの匠(先人)への聞き書き	「聞き書き」実行委員会	高校生が、地域で暮らす先人(匠)と出会い、その話を「聞き」、そのまま「書き」おこし、文章にまとめる。また、研修会・発表会の実施、成果物である冊子作成等を行う。

(3) 平成24年度採択事業

事業名	団体名	事業概要
育ちをサポート！お出かけ育メン育女応援団	NPO法人 保育サポート「あい・あい」	「地域の子育て支援の場」と「団塊の世代や学生等の活躍の場」をつなぐため、ニーズの把握や事前研修、スケジュール調整等を行うプロジェクトの開始及び運営
備中の伝統である綿で玉島の町を白く埋め尽くす事業(チャレンジ2)	NPO法人 備中玉島観光ガイド協会	昔から玉島地区で栽培されていた「綿」の栽培等を通じ、環境客の誘致や障害者施設への作業提供、インターネットでの発信を通じて地域の活性化を図る。 ・綿の苗(6,000本)、綿の種のセット(約10粒入り、4,000セット)の配布 ・玉島地区の小学校に対する綿の栽培の出前講座の実施 ・身体障害者施設に対し綿関連の作業を発注することでの就労支援
「高粱地紅茶まつり」の開催と備中宇治茶の生産振興	百姓のわざ伝承グループ	備中宇治茶を使用した「高粱紅茶」のアピールと産地活性化を目的とした「高粱地紅茶まつり」の開催 ・日時 平成24年11月23日(金)～24日(土) ・場所 高粱市文化交流館 等 ・内容 シンポジウム、地紅茶カフェ、地紅茶列車の運行 等
備中地域町並み保全と活性化事業	備中地域町並み保全・活性化会議	備中地域の北部(新見)、中部(高粱)、南部(倉敷、総社、笠岡等)の伝統的景観を保つ町並みや集落を探访し、その地区で活動する団体と交流することで、町並みの保存と活性化を図る。
低炭素グリーン生活推進モデルプロジェクト	元倉敷未来計画	備中地域を中心に栽培が盛んだった「キビ」「ハッカ」の復活、活用による地域活性化を目的に各商品の生産プロセスと商品化の確立を図る。 ・耕作拡大運動と原料の供給の確保 ・キビ枕等、関連商品の開発及び農業体験の紹介等による内外への発信
地域に新たな仕事とつながりを生み出す「着地型観光プログラム×地域インターシッパ」	NPO法人 吉備野工房 ちみち	今まで実施してきた着地型観光プログラム「みちくさ小道」を活用して、大学生が主体となって着地型観光プログラムを企画開発することにより、地域を担う若者の人材育成と地域資源を活用した起業支援、新事業開発支援を目的とする。

事業名	団体名	事業概要
草間台地の優れた自然環境や多様な生物をテーマとした環境学習・エコツアー	草間台エコミュージアム推進協議会	草間台地の自然・歴史遺産・文化・産業などの貴重な資源を生かし、他地域との交流、連携の促進や情報発信による地域活性化を図る。 ・貴重な生物(ウスイロヒョウモンモドキ等)の勉強会、観察会等の実施
GREENDAY2012 ～企業と世代をつなぐ持続的環境教育～	GREENDAY2012実行委員会	環境保全をテーマとして、高梁川全流域で大人から子どもまでの幅広い年代を対象にした講座を開催し、人材の育成と環境に関する地域課題の解決を目的とした事業を展開する。 <予定している講座例> ・ワシ・タカ観察会(高梁市:6歳以上対象) ・神郷の森「森林間伐作業体験」(新見市:18歳以上対象)等
草間台地の特産品・ソバの栽培による耕作放棄地の解消とキノコの原木栽培による眠っている山林資源の活用	草間台エコミュージアム推進協議会	草間台地の自然・歴史遺産・文化・産業などの貴重な資源を生かし、他地域との交流、連携の促進や情報発信による地域活性化を図る。 ・ソバの種まきから収穫までを都市住民とともに実施する。 ・キノコ栽培について、原木伐採から植菌までを都市住民とともに実施する。 ・採れたソバとキノコについて料理等を実施し、食文化を楽しむ。
自閉症教育セミナー及び治療教育相談会	NPO法人 岡山県自閉症協会	県西部や北部での開催が少ない自閉症療育関係のセミナーについて、備中局管内で実施し、自閉症に対する理解や支援の気運が醸成され、かつ個別の相談会により日常的に抱えている困難や不安の軽減を図る。
地域ハートフル大作戦 ～ひきこもり回復支援事業～	NPO法人 エブリイハート	ひきこもりに関する啓発・広報活動を展開することで、当事者や家族を掘り起こし、地域住民の理解と支援を要請する。 <具体的内容> ・ひきこもりを題材とした映画の上映等による啓発活動 ・ひきこもり支援者の専門的研修の実施 ・ひきこもり家庭訪問及び出張相談 等
高校生による備中で暮らすまの匠(先人)への聞き書き	「聞き書き」実行委員会	地域の文化、伝統を継承していくことと、若い世代の地域への意識高揚のため、高校生が地域で活動している「お年寄り(先人・匠)」から知恵や技術、考え方を「聞き書き」し、文章として残す事業

(4) 平成23年度採択事業

事業名	団体名	事業概要
<p>気づく つなぐ 地域で支える 心の健康 ～うつ病 私たちが出来ること～</p>	<p>にいみフォーラム</p>	<p>うつ病を克服された著名人を招いての基調講演と医師や専門家によるパネルディスカッションを中心としたフォーラムの開催</p>
<p>被害者の声を聴いてください ～シンポジウムとコンサート～</p>	<p>(社)被害者サポートセンターおかやま</p>	<p>性被害者と支援員によるシンポジウムと自らが被害者であるバンド「PANSAKU」によるライブ等の開催</p>
<p>新見御殿町歴史探訪 ”土下座まつり拝観”と”まち歩き”そして”歴史講談”</p>	<p>関重爾史会</p>	<p>新見の「土下座まつり」の拝観とまつりの舞台となる新見御殿町の「まち歩き」に加え、新見藩やまつりの由来、丸川松隠にまつわる「講談」をプログラムとするイベントの開催</p>
<p>「備中玉島を綿で白くする」事業</p>	<p>NPO法人 備中玉島観光ガイド協会</p>	<p>昔から玉島地区で栽培されていた「綿」を復活させ、観光客の誘致と地域の活性化を図る ・綿の「種」と「苗」の配布 ・玉島地区の小学校(11校)への栽培指導や出前講座の開催 ・備中綿鑑賞会や収穫祭、写真展の開催 等</p>
<p>低炭素グリーン生活推進モデルプロジェクト</p>	<p>元倉敷未来計画</p>	<p>備中地域を中心に栽培が盛んだった「キビ」と「ハッカ」の栽培を行い、市街地内耕作放棄地の解消と商品化による地域活性化を図る ・耕作拡大への活動 ・キビの枕、ハッカのカクテル等を中心にした商品化 等</p>
<p>GREENDAY2011 ～2011国際森林年と高梁川の持続的な環境保全活動宣言～</p>	<p>GREENDAY2011実行委員会</p>	<p>2003年から開催されてきた「GREENDAY」の活動を総括し、いままで活動を実施していない哲西町をメイン会場として、国際森林年の活動理念と連携をとったイベント等の開催 ・メイン会場:きらめき広場(新見市哲西町)でのイベント開催 ・倉敷、総社、高梁、笠岡を会場とした環境関連産業及び市民活動の人材育成を目的とした連続セミナー「GREENDAY COLLEGE」の開催</p>

事業名	団体名	事業概要
みんなでつくる！高梁川流域のエコ指標	(財)水島地域環境再生財団	地域の自然環境の状況把握と環境意識の醸成を目的とした「エコ指標」の作成と、作成した指標を活用したシンポジウムの開催
出張型集団一時預かりサポートネットワーク形成事業	NPO法人 ふれあいサポートちやていず	イベント、講演会、講座等の会場での一時預かり事業のネットワークを形成するため、備中地域各市町において乳幼児の一時預かりのサポートのできる人材を育成する <ul style="list-style-type: none"> <li>・一時預かりサポーター養成講座の開催</li> <li>・出張一時預かりポータルサイトの立ち上げ 等</li> </ul>
虐待防止のための連続ワークショップ事業 「わたしだってほめられたい～自分を好きになるワークショップ～」 「スターペアレンティグ ～親と子どものよい関係を築くために～」	NPO法人 子ども劇場笠岡センター	子育てを楽しむ親を増やす機会として、県民局管内5箇所連続ワークショップを開催する <ul style="list-style-type: none"> <li>・わたしだってほめられたい～自分を好きになるワークショップへの開催</li> <li>・スターペアレンティグ～親と子どものよい関係を築くためにへの開催</li> </ul>
高校生による備中で暮らすまちの匠(先人)への聞き書き	「聞き書き」実行委員会	地域の文化、伝統や技を守り継承していくことと、若い世代の地域への意識高揚のため、高校生が、地域で活動している「お年寄り(先人・匠)」から、知恵や技術、考え方を「聞き書き」し文章として残す事業
CAP(子どもへの暴力防止プログラム)の実施	エンパワメントMOMO	子どもたちをあらゆる暴力から守るために、アメリカで開発されたCAP(子どもへの暴力防止プログラム)を、ワークショップ、研修会形式で開催する

(5) 平成22年度採択事業

事業名	団体名	事業概要
新米ママ・パパのための子育て安心講座	たんぽぽの里	<p>子育て中のママ、パパを対象に、子育てに関する様々な知識や情報を取得するための講座を開催            (講座内容例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの身体の発達と病気</li> <li>・子どもの栄養と食事</li> <li>・子どもの遊び</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>
スクラップブックフェア2010	岡山スクラップブッククラブ	<p>スクラップブックフェア2010の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品展示、体験コーナーの設置</li> <li>・ワークショップの開催</li> <li>・スクラップブック用品の販売</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>
低炭素グリーン生活推進モデルプロジェクト	元倉敷未来計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農家、不動産、まちづくり専門家によるPTの立ち上げ</li> <li>・IT技術による耕作放棄地のDB化、耕作等の情報提供、新規営農者の居住推進</li> <li>・生ゴミを堆肥化する設備の活用によるCO2低減に寄与</li> </ul>
”じぶんチェンジ”ツアーin備中	NPO法人 リスタート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月………具体的なプログラム作成、募集の開始</li> <li>・8～12月…県内5カ所(倉敷、笠岡、総社、高梁、浅口を想定)で少人数の移動型研修会を実施</li> <li>・1～2月…アンケート分析、事業報告書作成</li> </ul>
子育てママが参加する公園遊びをつくるダンボールファクトリープログラム	遊び場を考える会	<p>講座及びワークショップの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座「幼児期の外遊びと冒険遊び場」の開催</li> <li>・ワークショップ「どんな遊び場？」でプランづくり</li> <li>・「ダンボールファクトリー」で屋外遊び場を作る</li> </ul>